

<保護者の皆様へ> 学校評価アンケート集計結果

保護者の皆様に学校評価アンケートをお願いいたしましたところ、多くのご家庭から回答をいただきました。この度アンケートの集計が出来上がりましたので、ご報告させていただきます。ご協力いただきありがとうございました。集計結果やご意見を参考に、教育活動の改善に努めてまいります。

アンケート調査について

<生徒アンケート>

過去２年間、肯定的回答の割合が伸びていましたが、今年度は、昨年度との大きな違いはありませんでした。それでも、「東谷中学校に入学してよかった」と回答した生徒が ９３％だったことなど、引き続き良好な結果を得られたと思っています。しかし、行事が縮小傾向にあること、わかり辛い授業があること、部活動の活動時間が短縮されたこと、生活面の指導に対すること等、不満や改善を望む声も聞いています。特に、「先生はわかりやすい授業をしてくれている」の問いは、昨年度より肯定的回答が減少しており、今後、最も力を入れて取り組まなければならない課題となっています。

生徒自身に対する質問項目では、「授業」「学校の決まり」「清掃活動」のいずれも肯定的回答の比率が高く、良好な結果となっています。基本的生活習慣が確立されていることや、進んで秩序ある行動がとれるところ等は、学校だけでなく、ご家庭での指導も大きく影響していると感じています。

<保護者アンケート>

今年度の回収率は 70％で、昨年度より高くなっていますが、更に学校教育に関心を持っていただけるよう努力と工夫が必要です。回答結果については、昨年度と大きな変化はなく、概ね良好な結果だと受けとめています。しかし、「わかりやすい授業」に関する質問は、生徒アンケートと同様、厳しい結果となっています。特に、保護者の方からの解答結果は、２年連続で評価を下げており授業改善は喫緊の課題となっています。

今後の課題

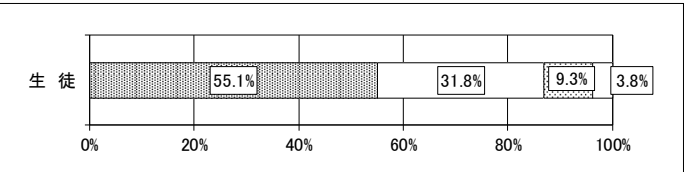
教員は、日々授業改善に努めていますが、良い結果を得られていません。研修のあり方も含めて、学校を挙げて最優先で取り組まなければならない課題となっています。

急激な社会の変化とともに、生徒に求められる学力も変わっています。また、生徒全員がタブレット端末を持って授業を受ける時代がもう目の前まで来ています。もちろん、授業改善は重要な課題ですが、それだけではなく、全ての教育活動に対して新たな視点を持って取り組むことが求められています。過去にとらわれていたのでは、必要な改革はできないと考えています。できることからひとつひとつ取組を進めていきたいと思っています。

【 生徒・保護者の学校関係者評価アンケート集計結果 】

※帯グラフは、左から「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の順で割合を表しています。

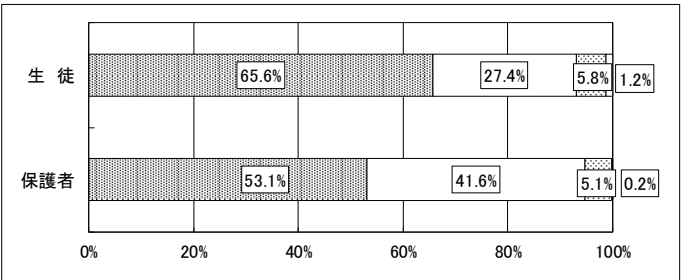
① 学校へ行くことが楽しい



【考察】

昨年度と大きな差はありませんが、肯定的回答は全国調査の値を上回っています。特に、「よくあてはまる」と回答した生徒は、大きく上回っています。1割以上の「楽しい」と感じていない生徒への対応が課題です。

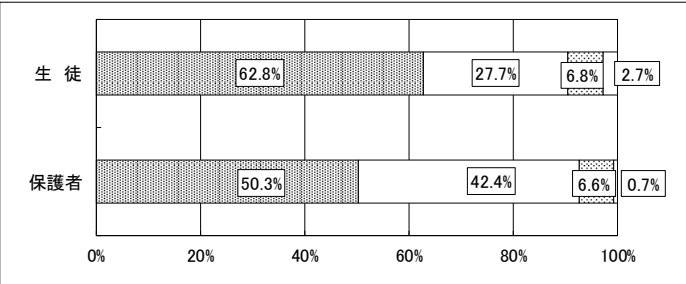
②東谷中に入学してよかった



【考察】

生徒、保護者共に昨年度と変わりませんが、93%の生徒が肯定的な回答をしました。特に3年生に「あてはまる」と回答した生徒が増えています。本校には、他校にない特徴的な活動もありますが、生徒たちは、ある程度理解して取り組んでくれているものと思います。今後、全員に「良かった」と思ってもらえるよう、見直すべきところは、積極的に改善していきたいと思っています。

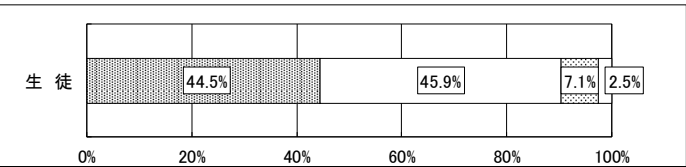
③体育祭や文化祭などの学校行事は充実している



【考察】

積極的に肯定する「あてはまる」の回答は、生徒、保護者共にやや減少しています。3年生では、行事がひとつ少なくなったことが原因と考えられます。ただ、昨年度から行事の取組時間を削減していますが、短い時間で成果を出せるようになっています。再来年度の新学習指導要領の全面实施に向けて、総合の時間の見直しとともに、効果的な行事運営の方法を検討していきます。

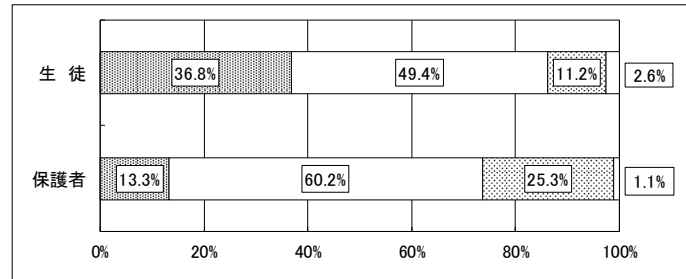
④授業に主体的に取り組んでいる



【考察】

肯定的回答が増えています。特に、3年生で昨年度を大きく上回っています。以前から授業では受け身の姿勢が目立ちますが、生徒が主体的に参加できる授業形態が増えています。引き続き授業改善に取り組めます。

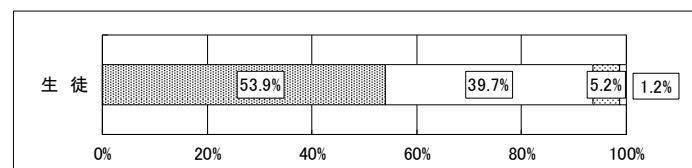
⑤先生はわかりやすい授業をしている



【考察】

生徒・保護者共に、評価を下げています。特に、2年生にその傾向が顕著に見られます。学年が進むと学習内容が難しくなることも一因として考えられますが、教員の授業力の向上が求められています。今後、タブレット端末の導入が始まります。授業を改善するという視点だけでなく、新たな授業のあり方について、学校を挙げて研修に取り組まなければならないと思います。

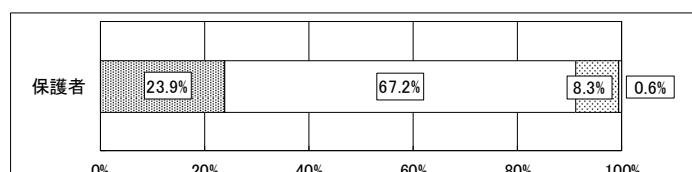
⑥先生は学習に関する質問に丁寧に答えてくれる



【考察】

肯定的な回答は、昨年度と変わらず高い値になっています。生徒と教員の関係性が良いことも必要ですが、自由に意見や質問ができる授業形態や学習環境をつくっていくことにも注力していきたいと思います。

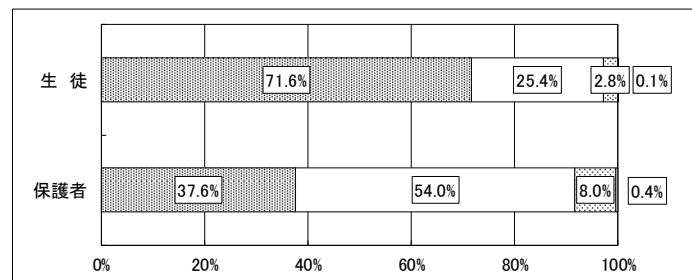
⑦先生は学習成果を適切に評価してくれる



【考察】

今年度、通知表の評定に誤りがあったことは、大きな反省点です。その後は、同じミスがないよう細心の注意を払っています。今後も評価内容や評価規準を明確にし、信頼性の確保に努めていきます。

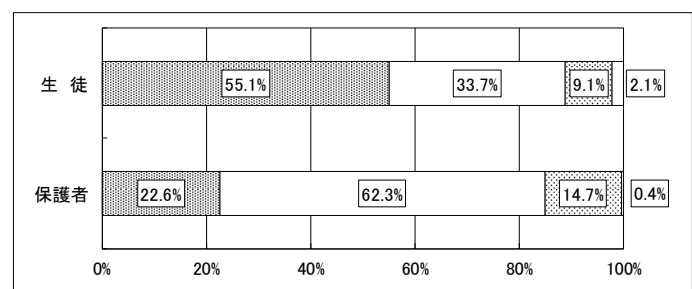
⑧学校のきまりや社会のマナーを守って生活している



【考察】

3年生で肯定的回答が増えています。決まりやマナーを守って生活することは、落ち着いた学習環境をつくることにつながっており、学習面の成果として表れています。集団生活の秩序を維持するためにもルールは必要ですが、現状にそぐわないものは見直さなければなりません。本当に必要な決まりとは何かを、生徒や保護者の方と一緒に考えていきたいと思っています。

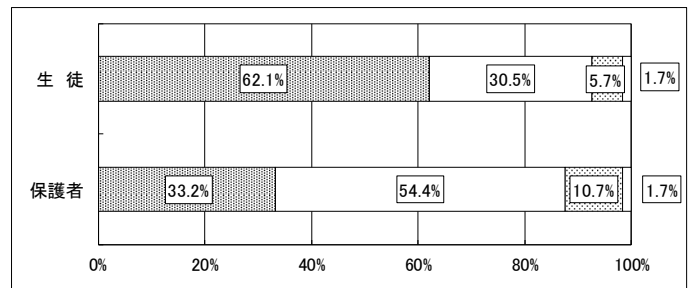
⑨先生はいじめのない学校づくりに努力している



【考察】

生徒は、昨年度より肯定的回答が減少しています。今年度も複数のいじめ事案がありましたが、SNSを介したものが多く、発見が遅れることもあります。教育相談やアンケート調査などを活用し、今まで以上に早期発見に努めなければなりません。また、生徒に安心感を与えられるような、教員の毅然とした対応も求められています。

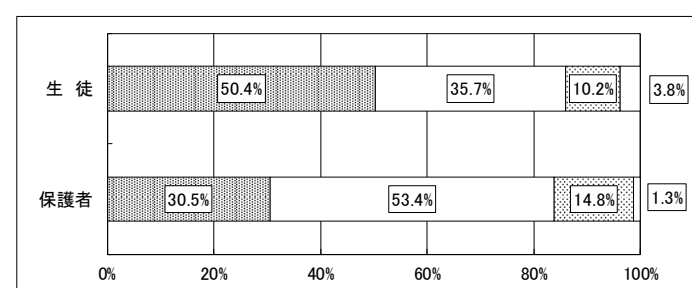
⑩先生は困っているとき真剣に相談にのっている



【考察】

生徒・保護者共に昨年度と変わりません。生徒の回答は良好だと考えています。中学生は、いじめ以外にも、進路選択、友人関係、家庭環境等様々な悩みを抱えています。教員は、生徒がいつでもSOSを出せる関係を築いておく必要があります。事あるときは、誠意を持って対応し、相談してよかったと思ってもらえるように努めていきたいと思っています。

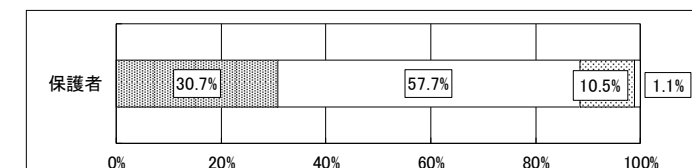
⑪先生はあなた(子ども)のことをよく理解してくれる



【考察】

生徒・保護者共に昨年度と変わりませんが、まだ多くの生徒が理解されていないと感じています。生徒に「先生は理解してくれている」としてもらうことが、全ての教育活動を円滑に進めることにつながります。日常的に生徒とのコミュニケーションを大切にすると共に、良い面を認めたり頑張っている点を評価したりすることを心がけていきたいと思っています。

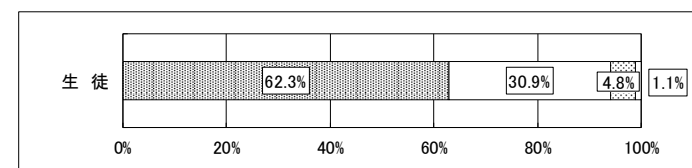
⑫(上)教育方針や教育活動の意義を適切に知らせている (下)通信・懇談会等で学校や子どもの様子を適切に伝えている



【考察】

社会の急激な変化に対応した学校教育が求められています。学校も、数年先を予測することが難しくなっています。このような時だからこそ、常に情報発信を心がけ教育方針を保護者の方により良く理解していただくかなければなりません。また、お子様を安心してお預けいただけるためには、学校の様子を適切にお知らせする必要がありますと考えています。今まで以上に情報発信を心がけていきます。学校HPは日々更新していますので、ぜひご覧ください。

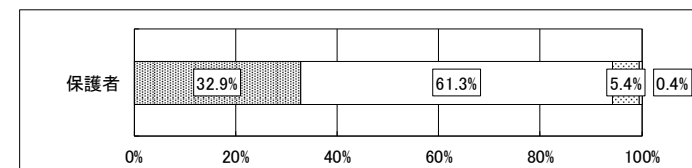
⑬しっかりと清掃活動に取り組んでいる



【考察】

全体的には昨年度と大きな変化はありませんが、3年生は評価が上がっています。「無言清掃」は、落ち着いた学習環境づくりだけでなく、学習面でも効果が上がっていると感じています。

⑭学校は、生徒が安心して学校生活が送れるよう環境整備に努めている



【考察】

古い校舎ですが、しっかりと掃除をし、器物破損が起きない落ち着いた状態をつくることで良い環境を維持しています。また、教室のユニバーサルデザイン化にも取り組み、誰にとっても学習しやすい環境づくりに努めています。